

草間彌生 作品展

同時開催

CONTEMPORARY ART

会期 2025年12月11日(木)～24日(水)

会場 福屋八丁堀本店 2階 ポップアップストア



「カボチャ (G)」
スクリーンプリント／150部／15.6×22.5cm／1992年



「無限の網 B」
スクリーンプリント／100部／
27.0×21.0cm／2000年



「かぼちゃ (RY)」
スクリーンプリント／120部／22.8×29.8cm／1996年

草間 彌生 Yayoi Kusama

少女時代から幻視・幻聴体験にみまわれる中で水玉と網模様をモチーフに絵を描きはじめる。

昭和32年に単身渡米し、ニューヨークを中心に約16年間活動。

増殖する網目と水玉のイメージが、ハプニング、反戦デモ、

自主制作映画など様々な形で拡がり注目を浴び、

世界的に活躍する数少ないアーティストとして国際的評価を確立する。

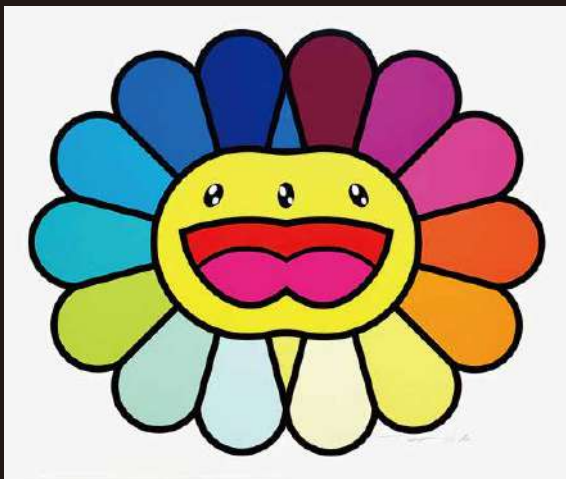
絵画、版画、コラージュ、環境芸術、野外彫刻、映像、文学など多岐に渡る表現技法により、

我々の想像をはるかに超えた独創的な作品を生み出している。

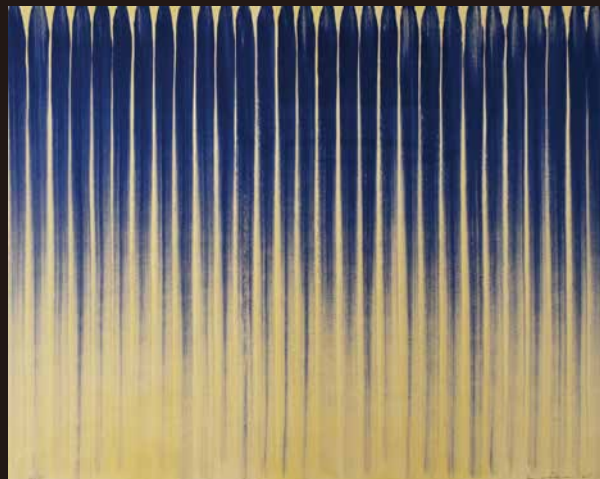
- | | |
|----------|---|
| 1929年 | 長野県松本市生まれ |
| 1949年 | 京都市立美術工芸学校 卒業 |
| 1957年 | 渡米。巨大な平面作品、ソフトスカルプチャー、鏡等を使った環境彫刻を発表。 |
| 1968年 | 自作自演の映画「草間の自己消滅」が第4回ベルギー国際短編映画祭に入賞。第2回アン・アーバー映画祭で銀賞を受賞。 |
| 1973年 | 帰国。美術作品の制作発表を続けながら、小説、詩集を多数発表。 |
| 1998～99年 | 大回顧展がロサンゼルス・カウンティ美術館、ニューヨーク近代美術館、ウォルカー・アートセンター（ミネソタ）、東京都現代美術館を巡回。 |
| 2003年 | フランス芸術文化勲章オフィシェ受勲 長野県知事表彰（芸術文化功労）受賞 |
| 2006年 | ライフタイムアチーブメント賞（芸術部門）受賞 旭日小綬賞 受賞 高松宮殿下記念世界文化賞（第18回）絵画部門 受賞 |
| 2011～12年 | 欧米回顧展がスペイン国立ソフィア王妃芸術センター（マドリッド）、ボンピドゥー・センター（パリ）、テート・モダン（ロンドン）、ホイットニー美術館（ニューヨーク）を巡回。 |
| 2012年 | アメリカン・アカデミー・オブ・アーツ&レターズ会員。「LOUIS VUITTON x YAYOI KUSAMA Collection」を発表。 |
| 2016年 | 文化勲章 受章 |

同時開催

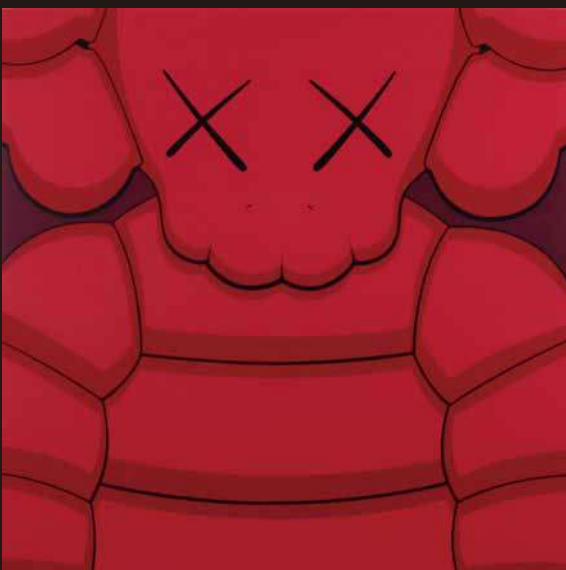
CONTEMPORARY ART



村上 隆「マルチカラーダブルフェイス・黄」
シルクスクリーン／100部／45.8×55.6cm／2020年



李 禹煥「From Line」
シルクスクリーン／150部／60.0×75.0cm／2025年



KAWS「WHAT PARTY (レッド)」
シルクスクリーン／100部／55.0×55.0cm／2020年



ロッカク アヤコ「Untitled」
シルクスクリーン／3,591部／60.0×80.0cm／2022年